

「知の拠点」整備構想 キャンパス整備費用試算(投資的経費)

		平成30年度～32年度		備考
		事業費 (百万円)	主な内容	
教育 研究 施設	1 号 館	378	新学部校舎として整備 設計、工事(研究室設置・バリアフリー化等)	新学部設置等のための必須事業として 優先的に実施
	3 号 館	379	新学部校舎等として整備 取得、設計、工事(教室設置・バリアフリー化等)	
	4 号 館	324	既存学部校舎の整備 工事(エレベーター・エアコン更新等)	
	学 生 活 動 施 設	31	学生活動用施設として整備 工事(クラブ・サークルスペース設置、エアコン更新等)	
福利 厚生 施設	体 育 館 ・ 駐 車 場	0	当面、既存施設や空きスペース等の有効活用により機能を 確保	平成33年度以降、大学が主体となって 整備時期・手法等を検討
	2 号 館 ・ 福 祉 棟	0		
	食 堂	0		
	厚 生 棟 ・ 警 備 員 室	0		
	学 生 宿 舎	0		
合計		1,112		
財源 内訳	国 庫 補 助 金	50	地方創生推進交付金	【参考】 ◆これまでの(平成28・29年度)大学施設整備の概要 ・北近畿地域連携センター 20百万円 ・図書館、まちかどキャンパス 89百万円 合計 109百万円 (財源内訳) ・国庫補助金(地方創生関連) 58百万円 ・市債(補正予算債) 42百万円 ・繰入金(ふるさと創生事業基金) 5百万円 ・一般財源 4百万円 ◆大学へのアクセス環境については、市の総合的な治水 対策事業と一体的に市道小谷ヶ丘堀山線を整備する。 (市道荒木神社堀線と接道予定)
	市 債	1,009	合併特例債(国からの財源獲得を推進し、合併特例債の縮 減に努める。)	
	そ の 他	0		
	一 般 財 源	53		